

男女共同参画って、

“女性をえこひいき”？

男女平等って“無理”じゃない？

男女共同参画って、結局なに？



明日はもっと自由に。

～みんなが“自分らしく”生きるために～

## 男性優遇社会だと思う = 約70%

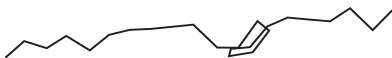
平戸市では、令和7年度に  
男女共同参画についてのアンケートを行いました。  
男性優遇社会であると思う人が多い中で、  
こんな声も聞かれました。

「女性だけを大事にする取り組みにみえる」  
「男女を無理に平等にしなくてもよいのでは」  
「男女共同参画の取り組み自体よく分からない」

これらの声は、まちの中にある今の気持ちです。

男女共同参画って、本当はどんな取り組みなのか  
よくある誤解の解説を交えながら  
ここでもう一度考えてみましょう。

## みんなが感じている “モヤモヤ”



アンケートで、いちばん多く出てきたのは  
「性別による役割の考え方が強い」という声でした。

たとえば…

「家のことは女性がやることが多い」  
「地域行事の飲み会のお世話は女性と決まっている」  
「男性の役割、女性の役割という意識がある」

こうした考え方や状況は、  
だれかが悪くて生まれたものではありません。  
長い時間をかけて、「当たり前」として続いてきました。

**今、その「当たり前」が、負担感や息苦しさに  
つながっている人がいるということを  
まずは理解することが大切です。**

**男女共同参画って、  
女性をえこひいき？**

「男女共同参画って、女性だけを特別にする話でしょ？」  
そう思う人も、少なくありません。

でも、それは違います。

**男女共同参画は、  
だれかを上にするためのものではありません。**

たとえば、スタートする場所が違う人がいたとします。

同じゴールを目指すなら、  
少し手助けが必要な人もいます。

それはズルではなく、  
みんなが同じ景色を見るための工夫です。

**頑張った人が  
評価されたらよくない？**

たしかに、頑張ることは大切です。  
でも、頑張れない理由が、最初からある人もいます。

家事や育児、介護が一人にかたよっている  
「女性だから」「男性だから」と言われてしまう  
挑戦したくても、チャンスが回ってこない

こうしたことは、本人の努力だけでは  
どうにもならない場合があります。

**男女共同参画は、努力が正しく評価される  
土台を整えることでもあります。**

## 家事が好きでやっているのに 問題なの？

家事や育児が好きでやっていることは、  
何も問題ではありません。

**大切なのは「選んでいるかどうか」です。**

本当は手伝ってほしいけど、言えない  
いまさら言ったところで、と思ってしまう  
やってみたいけど、やってはいけない気がする

そんな空気があると、好き・嫌いではなく  
「しかたなく」役割が決まってしまう。

**男女共同参画は、やりたい人が、  
やりたいことを選べる社会を目指しています。**

## 男女をまったく平等にするのは無理では？

男性と女性には、体の違いがあります。

でも、男女共同参画の目的は、  
そのような違いをなくすことではありません。

性別の違いを理由に、  
できることや、選べる道まで決めてしまわない。  
それが大切です。

**男女共同参画は、性別の違いを踏まえ  
平等にすることではなく、男性も女性も  
同じようにチャンスがある社会を目指しています。**

## 男女共同参画って、結局なに？

ひとことと言うと

**男女共同参画とは、  
「性別で決めつけない社会」のことです。**

男性だから こうする  
女性だから 向いていない

そんな言葉で、自分の未来が  
決まってしまうないようにする考え方です。

**大切なのは、同じにすることではありません。  
「一人ひとりの違いを大事にすること」です。**

## なぜ男性の家事育児が大事なの？

男性が家事や育児に関わることは、  
女性のためだけではありません。

男性にとっても、子どもと過ごす時間が増える  
家族との会話が増える、自分の生き方の選択が広がる

**その時にしかできない  
大切な時間です。**

また、負担が分かれることで、  
家族みんなが少し楽になります。



**家事や育児は、男性にとっても  
人生をより豊かにする経験になります。**

## なぜ女性の活躍が必要なの？

女性の活躍（登用）が進まない理由は、  
能力が足りないからではありません。

チャンスが回ってきにくかった  
期待されてこなかった  
声を出しにくい空気があった

さまざまな立場の人が  
話し合いに参加すると、  
見えなかった問題に気づけます。

**性別に関係なく、  
機会は平等であるべきです。**

それは、地域で暮らす人たちにとっても  
住みやすい環境づくりにつながります。

## 無意識の思い込みチェックシート

- 家事や育児は得意な人がやればよいと思う  
(気づくと同じ人に任せきりになっていることが多い)
  
- 本人が選んでそうしているから問題ないと思う  
(その選択以外を選びにくい空気は考えたことがない)
  
- 男女共同参画は自然な流れでいいと感じる  
(今の偏りが、なぜ起きているかは深く考えていない)
  
- この地域では普通と感じることがある  
(それが今の暮らしに合っているかは考えていない)
  
- 性別の話題は、できれば触れずにいたいと思う  
(話すと面倒になりそうだと感じる)

男女共同参画は、  
だれかの考え方や価値観を  
無理に変えようとする運動ではありません。

今の社会の“当たり前”が本当にそうなのかを  
見つめ直し、少しやわらかくするための取り組みです。



あなたの考えや感じ方も、  
大切にされる社会であるために。

**明日はもっと自由に。**  
～みんなが“自分らしく”生きるために～

発行：平戸市企画課  
令和8年2月